

「情報公開文書」

研究課題名：

大腸内視鏡検査施行歴別の対策型大腸がん検診成績からみた内視鏡サーベイランスの検討

研究責任者：

所属 宮城県対がん協会 職名 消化器担当医長

氏名 只野 敏浩

1. 研究の対象

2017年4月から2020年3月に地域大腸がん検診を受診した40歳以上の受診者

(宮城県対がん協会では便潜血検査を実施した方々)。

2. 研究目的・方法

便潜血検査を用いた対策型大腸がん検診において、大腸内視鏡施行歴の観点から検診成績を調査することで、大腸内視鏡検査実施後のサーベイランスのあり方を検討することを目的とする。

2017-2019年度、当協会実施の地域集団大腸がん検診を受診した40歳以上の男女を対象とする。便潜血検査陽性にて精密検査を受診した者を、①内視鏡受診歴なし、②5年以内、③6-10年 ④11年以上の内視鏡施行歴(その後のサーベイランス内視鏡の施行歴は含めず)に分け、がん、進行腺腫の検出率を比較する。さらには前回施行した内視鏡結果から(Ⅰ)がん、(Ⅱ)腺腫もしくは未治療ポリープ、(Ⅲ)異常所見がなかった例に分け、がん、進行腺腫の検出率を比較する。研究期間は2025年3月までとする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

検診受診数、検診受診率、精検受診率、がん検出率、進行腺腫の検出率、大腸内視鏡検査の前歴(検査日や診断名等)、検診時年齢、性別等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 宮城県対がん協会 がん検診センター TEL：022-263-1525